

## 平成 30 年度

# 社会福祉法人 湖南省社会福祉協議会

## 事業報告

### ＝ 事業総括 ＝

本会は、地域福祉を推進する中核的な団体として「第三次地域福祉活動計画」の初年度、「一人ひとりがぬくもりと安心と希望にみちたまちづくりをめざして」の基本理念に基づき、5つの基本目標に沿って、地域住民や諸団体の参加や協力、協働による多様な福祉活動や福祉サービスの推進に積極的に取り組んできました。

総務課では、社会福祉法人に対する厳しい改革（ガバナンスの強化、経営透明性、財務規律、地域での公益的な取り組み等）を実施するため、適切な運営に向けて随時、理事会・評議員会、再発防止再生評価委員会、第三者委員会を開催しました。昨年に引き続き、研修テーマを「お互いを知ろう、伝えよう」、「強い組織になるために」、「社協内でのつながりづくり」として外部講師を招いて年3回、役職員による研修会を開催しました。

また、財源検討部会を開催し、委員として市内各学区長、まちづくり協議会、商工会、工業会、行政、社会福祉協議会役員から社会福祉協議会会費、共同募金に対して社協会費の認知度、会費用途などのご意見をいただきました。市民には社会福祉協議会の「会費、事業」の知名度の低さを改めて認識し、引き続き部会での協議事項となりました。

地域福祉課においては、令和元年度から第2層生活支援体制整備事業を実施していくための準備として各地域での福祉のまちづくり懇談会に参画して、地域支えあい推進員設置に向けた取り組みを行政と共に実施しました。

社協会費を財源にした「絆づくり交付金」は、各まちづくり協議会へ交付して地域での見守り事業、住民による組織づくり事業を進めました。

生活福祉課においては、判断能力が不十分な高齢者等への支援を行うとともに、福祉サービス利用支援の地域福祉権利擁護事業の職員体制を充実させ、契約待機者の解消に努めました。生活困窮者に対して「家計改善支援事業」「生活福祉資金貸付事業」、市民を対象に「子どもの貧困を考えるフォーラム」を実施しました。

ホームヘルプセンターでは、「ご利用者アンケート」を実施して、アンケート結果から今後のサービス改善についての意見交換や職員研修を行い、ご利用者の満足度向上に努め、住み慣れた地域で、その人らしく安心して生活できるよう、引き続きサービス提供を心掛ける機会となりました。

今後も、本会では地域活動の場に積極的に出向き、「顔の見える社協」を目指し、地域のつながりづくりを推進する事業に取り組んで参ります。

## A 社会福祉事業

### 1. 法人運営事業 【 71,483,115 円 】

#### (1) 本部事業

##### 《法人運営事務》

##### ○理事会議の開催

開催日	案	件
30年5月25日	報告事項 議案第1号 議案第2号 議案第3号	会長・常務理事の職務執行状況報告 評議員選任の報告 平成29年度事業報告並びに会計決算書について 平成30年度定時評議員会の招集及付議案件について 平成30年度資金収支補正予算について
30年9月5日	報告事項 議案第1号	会長・常務理事の職務執行状況報告 理事の選任について 就業規定の一部改正について
30年12月7日	報告事項 議案第1号 議案第2号	会長・常務理事の職務執行状況報告 給与規程の一部改正について 旅費規程の一部改正について
31年3月11日	報告事項 議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号 議案第9号 議案第10号	会長・常務理事の職務執行状況報告 平成30年度社会福祉法人指導検査報告 理事・監事及び評議員選任規程の一部改正について 部会及び委員会規程の一部改正について 会員規程の一部改正について 職員就業規程の一部改正について 職員採用並びに定数に関する規程の一部改正について 役員・評議員の報酬及び費用弁償規程の一部改正について 経理規程の一部改正について 平成31年度事業計画及び予算について 基金積立金の積立及び取り崩しについて 平成30年度第3回定時評議員会の招集及付議案件について

○評議員会の開催

開催日	案 件
30年6月14日	議案第1号 平成29年度事業報告並びに会計決算書について 議案第2号 理事の選任について
30年8月10日	書面決議 議案第1号 理事1名の選任について
30年3月25日	議案第1号 平成31年度事業計画及び予算について

○監査の開催

開催日	おもな内容
30年5月18日	平成29年度事業報告、決算、会務運営の監査について

○評議員選任・解任委員会

開催日	案 件
30年5月21日	評議員の選任について

○再発防止再生評価委員会

委員名	金子秀明、森本信吾、桐高とよみ
開催日	案 件
30年11月22日	・再発防止の対策と現状報告について ・役職員の研修状況について

○再生に向けての役職員研修会

開催日	研 修 内 容
30年7月2日	ワールドカフェ形式 「お互いを知ろう」「伝えよう」 社協内の多職種の理解とつながり、他の組織の業務を知る 報告6部署、役職員5～6名による意見交換
30年10月25日	「強い組織になるために～日常業務にひそむリスク」 滋賀県社会福祉協議会 副会長 馬場八洲男
31年3月20日	「湖南市社協のつながりづくり～知恵とコツをわかちあおう～」 役職員5～6名によるグループワーク

○第三者委員の設置と委員会

委員名	藤原忠昭、川奈部洋子、長谷川あさ子
開催日	案 件
30年10月2日	・福祉サービス苦情体制について ・平成29年度福祉サービス苦情状況報告

○財源検討部会

開催日	案 件
31年2月21日	・社会福祉協議会費、共同募金、善意銀行について ・2グループに分かれて意見交換

○会費の納入依頼と徴収

7月 世帯会費依頼と徴収 ( 5,597,915 円) ※前年 5,914,566 円  
 8月 法人・事業所会費依頼と徴収 ( 730,000 円) ※前年 661,000 円  
 (計 6,327,915 円) (計 6,575,566 円)

・高額会費 (30,000 円以上) 納入事業所の広告を本会広報紙に掲載  
 対象 7社 (前年5社) 掲載5社 (前年3社)

## 2. 地域福祉事業 【 11,889,189 円 】

(1) 地域福祉活動事業

《地域福祉活動推進事業》

○第三次地域福祉活動計画の推進と進捗管理

○地域たまり場づくり事業

管理する施設での施設事業と目的に沿ったたまり場事業の実施

ふれあいの館	毎週月曜日午後1時30分より「ふれあいサロン」を開催 (手芸・囲碁などを通して交流)
社会福祉センター	1階ロビーでのコーナーとテレビの設置

○地域福祉支援事業

学区ごとに担当職員を配置し、まちづくり協議会活動等への協力や地域での支援活動を行った。

○地域見守り体制の構築

生活支援サポーター(ボランティア26名)による地域での見守り活動を実施し、主に一人暮らし高齢者(利用者21名)を対象に見守り活動を行った。

《福祉出前講座》

地域住民や自治会・団体等を対象に、社会福祉協議会の事業、ボランティア、介護などの各担当職員を講師として派遣し、市民の社会福祉協議会や地域福祉への啓発と推進のため、福祉出前講座を行った。

開催回数 6回 参加人数 103名
頼先 老人クラブ1回、自治会1回、団体4回
依頼内容
①ヘルパーによる寸劇(認知症、高齢者詐欺)
②介護保険制度について
③地域福祉権利擁護について
④社会福祉協議会の仕事

## (2) ボランティアセンター活動事業

### 《ボランティア活動に関する情報の収集および提供》

#### 情報提供

- ・社協広報「ふくしの輪」のボランティアセンターだより
- ・市広報にてボランティア講座、シルバー教室などの参加者募集及びボランティアまつりお知らせなどを掲載

### 《ボランティア活動に対する相談、助言と調整》

- ・ボランティア依頼（一般依頼：326回）  
（定期的依頼：年間）

市内福祉施設、高齢者サロン、幼稚園、保育園、小中高等学校、子育てサロン、学童保育、まちづくりセンター、国際協会 など 36 施設(延べ 564 回)

### 《ボランティア講座の開催などによるボランティアの育成》

- 生活支援サポーター講座（全4回）参加者延 44 名
- 災害ボランティア養成講座（全3回）参加者延 134 名
- ボランティアきっかけづくり講座（全3回）参加者 35 名
- 障がい児支援ボランティア・スタッフ養成講座（全3回）参加者 25 名  
～終了後、ホリデースクール事業参加～
- レイカディア大学ボランティア体験説明会 参加者 10 名
- 市内小中高校の体験学習

三雲小学校	3 年生 90 名	手話・点字・視覚障がい者のお話
三雲東小学校	5 年生 56 名	車イス・アイマスク・手話・点字体験
菩提寺小学校	3 年生 72 名	車イス・アイマスク・手話・点字体験
菩提寺北小学校	3 年生 46 名	アイマスク・視覚障がい者のお話
石部南小学校	3 年生 33 名	点字・アイマスク
岩根小学校	3 年生 35 名	手話・アイマスク・点字体験

- 中高生ボランティア体験（全3回）参加者 15 名  
【車イス体験、アイマスク体験、「すずめの学校」夏祭り体験】

### 《ボランティア活動の組織化や交流の促進》

- ボランティアまつり 平成 30 年 11 月 3 日（土）  
広くボランティア活動の理解を深め、ボランティアとの交流、ボランティア同士の交流を図るため年 1 回開催。2,000 名を超える来場者があった。

《当日参加ボランティア》約 70 グループ 400 名（前年度 366 名）
《一般体験コーナー終了者数》180 名（前年度 276 名<参加人数>）
《景品引き換え》488 名（前年度 451 名）

### 《ボランティア活動基盤整備》

- ボランティア保険の加入  
・ボランティア活動保険加入 810 名（前年度 830 名）

・ふれあいサロン保険加入 23 名（前年度 40 名）

○ボランティアグループへの活動助成

・70 団体に助成（前年度 70 団体）

○ハッピータイム（奇数月第 2 火曜日午後 1 時 30 分～）

・グループ間の交流・ボランティアグループ活動披露

7 月	ソーイング 16 名参加	9 月	ちっちゃなかぜ 9 名参加
1 月	まつかぜ 12 名参加	3 月	車イスレクダンス甲西 19 名参加

○こどもクラブ

就園児・小学生親子とボランティアとの交流を目的として開催  
不定期（春・夏・冬休み・土曜日など）

全 9 回	参加者	延べ 296 名
-------	-----	----------

約 33 名／回	参加
----------	----

《その他》

○備品貸し出し・・・車椅子、かるた、カラム、プロジェクターなど

○高齢者見守り活動事業

生活支援サポーターによる見守り活動事業の実施・・・年間 192 回

○ゴーヤカーテンプロジェクト

ボランティアと市 30 か所（保育 7 か所、幼稚園 5 か所、小学校 2 か所、児童施設 3 か所（市外 1 か所含む）、高齢者施設 9 か所、公共施設 5 か所）にゴーヤのカーテンの普及を推進するため、種まき、苗作り、棚にする竹の切り出し、棚作り、花壇作り、追肥などをした。

○配食サービス事業

ひとり暮らしの高齢者に対し、ボランティアの協力のもとに手作りの昼食を配達した。

年間 21 回開催	延べ 1,061 個配食	<昨年計 1,033 個>
-----------	--------------	---------------

9 月 4 日は台風のため配食は中止したが、中止連絡など安否確認を利用者全員に連絡した。
--

約 50 個／回	配食
----------	----

なお、給食サービスで安否確認できなかった一人暮らし高齢者に対して担当民生委員へ連絡して安否確認を依頼した。

○災害ボランティアセンター設置・運営のための活動

・災害ボランティアセンター設置・運営訓練 9 月 2 日 参加者 75 名

・災害ボランティアセンター運営隊の育成（登録者 40 名）

・災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの改訂

○リサイクルコーナー・手作り品販売コーナーの設置

・古着を 1 着 100 円で、手芸ボランティアの作品を希望される方に購入いただいた。

○行事などへのボランティア参加協力

・障がい児ホリデースクール事業 ボランティア数 延 207 名(前年度 168 名)

(3) 広報活動事業

《広報発行事業》

○広報の発行

・平成 30 年 6 月発行 (通刊 35 号 新聞折込)

・平成 30 年 10 月発行 (通刊 36 号 新聞折込)

・平成 31 年 2 月発行 (通刊 37 号 新聞折込)

・ホームページの更新

○広報紙の配布

市内まちづくりセンターや県内社協へ広報を配布した。

(4) 助成事業

《地区活動助成事業》

各区の前年度(平成 29 年度: 5,914,566 円)の会費額の 20%を地域福祉活動のために助成した。(地域福祉活動奨励金)

助成額合計 1,184,200 円 <前年度 1,212,400 円>

《福祉団体活動助成事業》

市内の福祉関係団体に対し活動費を助成した。(10 団体)

(5) 敬老会開催事業

《敬老会開催助成事業》

各区、高齢者施設(8 か所)で開催される敬老会に対して市内の 73 歳以上の人口割で開催費用の助成を行った。

・助成総額 1,997,300 円

(6) 生活困窮者支援事業

○「子どもの貧困について考える」フォーラム

子どもの貧困について「知ってもらうことから」として、市民、学校、企業、福祉関係者に案内してフォーラムを開催した。

実施場所 共同福祉施設(サンライフ甲西)

開催日 平成 30 年 11 月 11 日(日)

内 容 講演「子どもたちと育ちあえるまちづくり」

NPO 法人山科醍醐こどものひろば 理事長 村井琢哉氏  
事例報告

・「平成 29 年度実施 子どもの貧困に関する実態調査結果報告」

湖南省健康福祉部住民生活相談室

・菩提寺「すすく食堂」の取組み

菩提寺まちづくり協議会 浅井長美氏、重松玲子氏

来場者 約 30 名

共 催 湖南省(住民生活相談室)

### 3. 生活福祉事業 【 4,314,891 円 】

#### (1) 生活福祉貸付事業

##### 《生活福祉資金貸付事業》

生活に困窮した方（世帯）からの経済的な悩みの相談を受け、必要に応じ貸付制度の利用手続きを進めたほか、善意銀行事業による生活食糧品支援や、生活保護の対象と考えられる世帯を行政へ繋ぐなど関係機関との連携を行った。

##### ○生活保護受給予定世帯を対象としての貸付（市）

種 類	件 数	貸 付
生活保護予定世帯繋ぎ小口資金		8 <昨年 11>

##### ○生活緊急一時としての貸付（県）

種 類	件 数	相 談	貸 付
緊急小口資金		92 <昨年 96>	4 <昨年 5>

##### ○失業による生活貸付（県）

種 類	件 数	相 談	貸 付
総合支援資金		6 <昨年 26>	0 <昨年 0>

##### ○福祉による目的に応じた貸付（県）

種 類	件 数	相 談	貸 付
福祉資金		59 <昨年 64>	9 <昨年 6>
教育支援		23 <昨年 60>	3 <昨年 8>

##### 《行路者旅費支給事業》

行路者に対する旅費として、切符により支給した。

6件（内訳 柘植方面 1件 草津方面 5件） <昨年 9件>

#### (2) 地域福祉権利擁護事業

判断の困難な方を対象に、日常の金銭管理や大切な物の保管など生活支援を行った。

・契約件数：65件 <昨年 56件>

内訳：認知症高齢者等 10件 知的障がい者等 31件  
精神障がい者等 21件 その他 3件

・年度内新規契約：15件（認知5、知的6、精神3、その他1）

解約：6件（認知3、知的3、精神0、その他0）



問い合わせ、相談援助件数	認知	知的	精神	その他	計
問い合わせ	5	12	5	0	22
問い合わせ初回相談	13	8	7	0	28
相談援助	839	1,632	1,601	99	4,171
<b>計</b>	<b>857</b>	<b>1,652</b>	<b>1,613</b>	<b>99</b>	<b>4,221</b>
<昨年度計>	(1,012)	(1,427)	(2,292)	(96)	(4,827)

○市民向け権利擁護セミナー

NPO 法人甲賀・湖南成年後見センターぱんじーと市民を対象にセミナーを開催した。

実施場所 水口社会福祉センター

開催日 平成 31 年 2 月 2 日 (土)

内 容 講演「高齢者・障がい者の生活を支える成年後見制度」  
観劇「劇団ふりいだむ」  
意見交換

来場者 30 名

(3) 介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービス

《いきいきサロンなごみ》

要支援者と二次予防事業対象者の高齢者に趣味等の生きがい活動の機会と場を提供することを目的に実施した。

実施場所 石部軽運動場 (石部老人福祉センター併設)

開設日 毎週火・水曜日

登録者 16 名 <昨年 18 名>
年間 99 回開催 延べ 727 名参加 <昨年延べ 830 名>
平均 約 7.3 名/回、 約 61 名/月 参加
利用者の送迎 727 名/年

#### 4. 受託事業 【 14,775,931 円 】

(1) 障がい児ホリデースクール事業

学校の長期休暇期間中に障がい児を対象に地域やボランティアの方々とふれあいながら健やかな一日を過ごせるよう、ホリデースクールを開催した。

① 夏季休暇中の 18 日間 (7 月 24 日から 8 月 24 日)

参加児童生徒 延べ 232 名 <昨年 213 名>

スタッフ 延べ 166 名 <昨年 206 名>

ボランティア 延べ 179 名 <昨年 146 名>

サポートボランティア 延べ 59名 <昨年 50名>

※ 子どもたちとふれあう以外に調理や外出時の会場設営などで事業をサポートするボランティア

②冬季休暇中の2日間

12月24・25日の2日間

「クリスマス会」 社会福祉センター

参加児童生徒 延べ 25名 <昨年 30名>

スタッフ 延べ 19名 <昨年 20名>

ボランティア 延べ 18名 <昨年 17名>

③春季休暇中の2日間

3月26・27日の2日間

Kids US Land (草津市)

参加児童生徒 延べ 21名 <昨年 20名>

スタッフ 延べ 17名 <昨年 20名>

ボランティア 延べ 10名 <昨年 5名>

(2) ファミリーサポートセンター事業

子育て支援のため、子ども（未就学児・小学生が対象）の一時的に保育を希望される保護者と子どもの世話ができる方がそれぞれ会員となり、ニーズに合わせて保育機会の提供を行った。

開設日時 毎週月曜日～金曜日 午前10時～午後5時

<第2水曜日は午後7時まで開所>

(湖南市中央一丁目38 平和堂甲西中央店内)

《センター運営事業》

・会員交流会の開催

5月23日 「ヨガ教室」

9月5日 「井戸端交流会」

12月1日 「クリスマス会」

音楽に合わせて体を動かしたり、楽器を演奏して楽しもう。

延べ 55名参加

・延長開所 4月11日、5月9日、6月13日、7月11日

8月8日、9月12日、10月10日、11月14日、

12月12日、1月9日、2月13日、3月13日

・会員、一般向け子育て研修会の開催 9月19日、9月26日

10月3日、10月10日、10月17日、10月24日

延べ 56名参加

・フォローアップ講座の開催

11月13日「親子で作る簡単おやつ」

14名参加

- ・会員通信の発行（年2回）
- ・4か月児健康診査、10ヵ月児健康診査（保健センター）へ出向き説明及び入会手続き
- ・平成30年度会員登録者

提供会員 70名<昨年82名>

依頼会員 263名<昨年232名>

両方会員（提供依頼兼務）23名<昨年26名>

《活動実績と内訳状況の内訳》

項目	回数	<昨年>
保育園・幼稚園の預かり、送り	52	<234>
保育園・幼稚園の迎え、預かり	52	<79>
保育園・幼稚園の帰宅後の預かり	7	<4>
保育園・幼稚園の帰宅後の迎え及び預かり	4	<12>
学童の送り	341	<168>
学童の迎え	156	<56>
放課後児童クラブ（学童保育）の迎え、預かり	2	<1>
放課後児童クラブ（学童保育）の送り	132	<183>
学童の放課後の預かり	0	<0>
子どもの習い事等の場合の援助	0	<20>
保育園・学校等休み時の援助	79	<75>
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	84	<96>
保護者等の求職活動中の援助	3	<2>
保護者等の外出や他のこどもの学校行事の場合の援助	0	<14>
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	38	<3>
多胎児の保育援助	5	<0>
その他	5	<2>
合計	960	<949>

(4) 高齢者生きがいサロン事業

《おたっしやる一む》

60歳以上の高齢者の心身の健康を維持し、閉じこもりや認知症を予防し、地域で安心して生活できることを目的に実施した。

実施場所 松籟会館

開設日 毎週月・木曜日

登録者 7名<昨年8名>
年間 88回開催 延べ297名参加 <昨年延べ441名>
平均 約3.3名/回、約25名/月 参加

利用者の送迎 297 名／年
----------------

《みくもいきいきサロン》

65 歳以上の方を対象に健康維持、自立支援の助長、介護予防仲間づくりを目的に実施した。

実施場所 三雲地域人権福祉交流センター（三雲ふれあいセンター）

開設日 毎月第 1、第 3 金曜日

登録者 20 名
年間 23 回開催 延べ 251 名参加<昨年延べ 307 名>
平均 約 11 名／回 参加

(5) 生活困窮者自立支援事業 家計相談支援事業

市住民相談室(自立相談窓口)等の各専門機関と連携し、生活困窮世帯を対象に家計管理を中心とした家計相談支援を行った。生活福祉資金貸付とも必要に応じて連携をとった。

利用世帯数	11 世帯／年	昨年 (10)
相談件数	4 件／年	〃 (12)
支援件数	109 件／年	〃 (121)

(6) 生活支援コーディネーターの設置

○多様な主体によるつながりづくりや地域課題を共有し協議することにより、支えあい活動やまちづくりの展開への支援を行った。

- ・地域での課題解決に向けた取り組みへの参加
- ・地域課題を、住民や関係者が集まって話し合う場づくりへの支援
- ・住民同士の支えあい・助けあい活動への協力

## 5. 居宅介護事業 【 65,246,064 円 】

(1) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

《訪問介護事業》

介護保険事業として、高齢者の方々を中心に、身体介護や生活援助の訪問介護サービスを提供した。

介護保険訪問	介護予防日常生活支援総合事業
利用者 延べ 794 名／年 <昨年 888 名／年>	利用者 延べ 170 名／年 <昨年約 111 名／年>
約 66 名／月<昨年 74 名／月>	約 14 名／月<昨年 9 名／月>
訪問回数 延べ 11,931 回 <昨年 11,026 回／年>	訪問回数 延べ 995 回 <昨年 546 回／年>
約 994 回／月	約 82 回／月

＜昨年 919 回／月＞	＜昨年 46 回／月＞
--------------	-------------

(2) 障がい者総合支援事業

障がい者総合支援制度に基づき、本会では居宅介護事業（身体障がい者ホームヘルプサービス・同行援護サービス）を実施し、利用対象者にサービスを提供した。

ホームヘルプサービス	同行援護サービス
利用者 延べ 299 名／年 ＜昨年 216 名／年＞	利用者 延べ 74 名／年 ＜昨年約 73 名／年＞
約 24 人／月 ＜昨年 20 人／月＞	約 6 人／月 ＜昨年 6 人／月＞
訪問回数 延べ 2,351 回 ＜昨年 2,030 回／年＞	訪問回数 延べ 275 回 ＜昨年 281 回／年＞
約 196 回／月 ＜昨年 169 回／月＞	約 22 回／月 ＜昨年 23 回／月＞

《湖南省障がい者等移動支援事業》

屋外での移動が困難な視覚障がい者（グループ）に対して、外出のための支援サービスを提供した。

介護なし	介護あり
2 対 1 利用者 延べ 20 名／年 ＜昨年延べ 44 名／年＞ 約 1.6 名／月 訪問回数 延べ 40 回 ＜昨年延べ 72 回／年＞ 約 2 回／月	2 対 1 利用者 延べ 2 名／年 ＜昨年延べ 14 名／年＞ 約 0.1 名／月 訪問回数 延べ 4 回 ＜昨年延べ 35 回／年＞ 約 0.3 回／月

(3) 特定相談支援事業

障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、障がい者福祉サービス等の利用計画の作成等を行った。

利用者 延べ 53 名／年 約 4 人／月 ＜昨年延べ 20 名／年＞
-------------------------------------

(4) 子育てホームヘルプサービス事業

《多胎児家庭ホームヘルプサービス事業》

多胎児を持つ世帯に対し、家事や育児などの生活支援ホームヘルプサービスを市受託事業として実施した。

延べ 29 名、81 回／年 ＜昨年計 31 名、105 回／年＞
約 2 名／月、7 回／月 ＜昨年計 2 名、9 回／月＞

《子育て支援ヘルプ事業》

生後 3 歳までの乳幼児のいる世帯に対し、家事や通院、育児など様々な活動の支援を市受託事業として実施した。

延べ 13名、40回/年 <昨年計 8名、65回/年>
-----------------------------

約1名/月、3回/月 <昨年計1名、5回/月>
-------------------------

(5) 特定旅客自動車運送（福祉有償）事業

特定旅客自動車運送事業者（道路運送法43条及び78条を取得）として介護保険事業及び障がい者総合支援事業の契約者を対象に、通院や買い物など契約サービスと一体的に移送サービスを実施した。

延べ 242名、424回/年 <昨年計 254名、488回/年>
----------------------------------

約20名/月、35回/月 <昨年計 21名/月、41回/月>
--------------------------------

## 6. 施設管理事業 【 15,609,955円 】

(1) 社会福祉センター管理事業（指定管理）

市（社会福祉課）から指定管理（平成30年度～32年度）を受託し、貸館業務、施設管理業務、また施設事業として関連情報の提供やたまり場事業等を行った。

=貸館状況=

年間延べ 1,213件 <昨年 1,205件>
-------------------------

平均 約101件/月 利用
---------------

(2) 石部老人福祉センター管理事業（指定管理）

市（高齢福祉課）から指定管理（平成30年度～34年度）を受託し、専従の管理人を配置して貸館業務、施設管理業務、また施設事業として高齢者を対象に風呂の利用、サロンの開催、健康推進事業などを行った。

=貸館状況=

年間延べ 752件 <昨年 延べ726件>
-----------------------

平均 約63件/月 利用
--------------

=“和の湯”利用状況（利用料1回 100円）=

年間延べ 1,273名 <昨年 延べ1,195名>
---------------------------

平均 約106名/月 利用
---------------

=軽運動場管理事業=

年間延べ 776件 <昨年 延べ830件>
-----------------------

平均 約65件/月 利用
--------------

○ふれあいサロン「みんなのまめ講」の開催

石部老人福祉センターを拠点に介護予防、仲間づくりのためのサロンをボランティアの協力をいただきながら開催した。

実施場所 石部老人福祉センター

開設日 4月より毎月第2金曜日

年間12回開催
---------

延べ 478名参加 <昨年延べ502名> 平均約 40名/回参加
----------------------------------

○老人福祉センターまっりの開催

老人福祉センター並びに軽運動場の利用促進と利用者同士の交流を図るため、施設利用者（グループ）によるステージ発表や作品展示、また体験コーナー、模擬店を設置した。

実施場所 石部老人福祉センター、石部軽運動場

開催日 平成 30 年 5 月 26 日（土）

来場者 約 400 名

協力団体 41 団体

○老人福祉センター「将棋大会」の開催

将棋を通して、思考力・集中力・決断力など技能の向上に加え、人との交流を深めながら愛好者の増加をめざし開催した。

実施場所 石部老人福祉センター

開催日 平成 30 年 11 月 15 日（木） 対局参加者 16 名

○シニア応援講座の開催

高齢者が自ら学び、生きがい探しや仲間づくりなど、世代交流をしながら地域づくりに楽しく参加できる「シニア応援講座」を開催した。

①湖南省の歴史講座

（平成 30 年 6 月 19 日～5 回シリーズ・生涯学習課共催）

延べ 96 人参加 平均 20 名/回

②童謡の色紙作り 平成 30 年 9 月 19 日（水） 参加者 15 名

③はじめてのヨガ 平成 30 年 10 月 19 日～4 回シリーズ

延べ 42 人参加 平均 11 名/回

④ゆずみそと簡単ケーキ作り

平成 30 年 12 月 4 日（火） 参加者 12 名

○高齢者いきいき教室

60 歳以上の方を対象に健康維持、介護予防、仲間づくりのための教室を開催した。

実施場所 石部軽運動場（和の家）

開設日	毎週月曜日午前	登録者	5 名	<昨年 7 名>
年間	43 回開催	延べ 158 名参加	<昨年延べ 180 名>	
平均	3.6 名/日、 約 13 名/月 参加			

(3) ふれあいの館管理事業（指定管理）

市（社会福祉課）から指定管理（平成 30 年度～34 年度）を受託し、専従の管理人を配置して施設の貸館を含めた管理業務を中心とし、施設の事業として位置づけられたボランティア活動として次のような事業を行った。

《施設管理事業》

年間延べ 622 件	<昨年 延べ 561 件>
約 52 件/月	利用

《たまり場事業》

毎週月曜日午後1時30分より「ふれあいさろん」を開催  
(手芸・囲碁などを通して交流)

《その他》

○備品貸し出し 囲碁ゲームセット・本・遊具など

## 7. 善意銀行事業 【 629,257 円 】

市内外から善意による金品の寄付を受け、寄付金の一部については地区活動助成事業やボランティアセンター活動事業に役立て、また米や物品などは生活困窮者や施設への提供あるいは本会やボランティア活動に提供するなど、多方面へ役立てた。

寄付総額 1,148,835 円 < 昨年 490,308 円 >

寄付物品 車椅子、米、タオル等

《催し物器具の貸出事業》

地域での行事やイベントに必要な催し物器具を次のとおり貸し出した。

・貸出件数 合計 89 件 < 昨年 85 件 >

	かき氷機	綿菓子器	ポップコーン機	たこやき器	鉄板
30 年度	29 件	31 件	23 件	0 件	6 件
<昨年度>	(20 件)	(34 件)	(18 件)	(3 件)	(10 件)

《福祉機器貸出事業》

車椅子の貸し出し 貸出回数 61 回 (31 年 3 月末現在) < 昨年 59 回 >

《福祉自動販売機設置事業》

社会福祉センター、老人福祉センターに自動販売機を設置し、設置手数料を福祉事業への財源確保に努めた。